

デージー教科書製作ネットワークの文部科学省への要望

青森公立大学教授 神山 博

1 タイトル

こんにちは、青森公立大学の神山です。今日は「DAISY 教科書製作ネットワーク」の立場でお話します。

2 DAISY の普及拡大

私が DAISY に関わるようになったのは、読みに困難を持つ子どもたちのことを知ったからです。彼らが DAISY という翼を得て知識を獲得し、大人になってから活躍して欲しい。そんな思いでネットワークに参加し、製作・普及に努めてきました。その甲斐あって利用者は過去 5 年で 8 倍に急増しました。

これほど急速に普及した理由は、その有効性です。

3 DAISY の有効性

まず DAISY 図書は読む事への負担が減ります。その分、内容理解に集中できますから、自己有能感や自尊心にも繋がります。

また文科省の実証研究を初めとする多くの学術研究によって、ハイライト機能等の DAISY の有効性が確認されています。

なによりも DAISY とそれが組み込まれた EPUB は国際規格で、アクセシビリティについての検証を経て規格策定されているものであり、事実上、図書の国際標準の 1 つです。

国会の審議でも、繰り返し、読みの障害と DAISY が議論されてきました。いずれもアクセシブルな DAISY を高く評価して、普及に努めるといった答弁が政府側からなされています。

4 普及の現状

しかしながら文科省調査を元に推計すると、読み書き困難の子ども達は少なく見積もって数十万人、おそらくは 50 人以上います。DAISY 教科書が急速に普及しているとはいえ、必要な子どもたちの、ほんの数%にしか、届いていないのが現状です。

これって、かなりおかしいですね。一億 総活躍社会の実現を唱えている国なのに、活躍するために必要な、義務教育の教科書が、数十万人規模で届いていないんです。

5 合理的配慮と基礎的環境整備

障害者権利条約では「機会の均等」を謳っています。これは同じスタートラインに立てるということです。その担保法である「差別解消法」では「行政が基礎的環境整備を行う」としています。DAISY が合理的配慮や基礎的環境整備に資することは、もう誰も疑いませんから、普及しないのは、法制度や経費等の問題です。

6 普及を阻むもの

法の壁としては、学校教育法 34 条に「紙の教科書の使用義務」がありましたが、来年 4 月の改正法の施行後は、ようやく、この縛りがなくなります。デジタル教科書と紙を併用できます。

ただしこのデジタル教科書の規格はマラケシュ条約を批准するにあたって国際規格に準拠するものであって欲しいと思います。

また教科書バリアフリー法の「教科用特定図書」は、国が無

償給与することになっていて、①、②、③のいずれか、DAISY 教科書は③に該当します。

7 適時安定提供を阻むもの

ところが同時期に通知された、10 年前の無償給与 実施要領を見ると、とくに条件はクリアしていることが分かっているのに、いまだに無償給与は拡大教科書と点字教科書だけに限定しています。これは特定の障害に対する差別的な取り扱いが長い間続いているということであって、その結果、DAISY 教科書を必要とする人に届きにくい状況が、続いているのです。

また、160 人のボランティアが寝る間も惜しんで作ったとしても、現状では新学期までに完了する事は難しいです。

そのほかにも、環境の整備等、問題が山積していますが、

8 国と出版社の責任で無償給与を

やはり国と教科書会社の責任で DAISY 教科書を提供する体制が必要です。

こういった事は、国が決めて、予算を確保し進めていくことでクリアされるもので、2 年前の国会で馳（はせ）大臣が明言しているところですが、進んでいるとは言い難い状況です。

特に、無償給与の対象外であることと、リソース不足の問題はととも大きいのです。

そもそも使える教科書の給与は国の責務ですから、学校教育法の改正を機に、こうした状況に終止符を打って、国の責任を果たして欲しいのです。

9 3つの要望

DAISY 教科書製作ネットワークでは、当面の解決策として、DAISY 教科書の無償給与に関する、3 項目の要望をまとめました。

- ① まず国の責務として、DAISY 教科書を必要としているすべての子供たちに無償給与すること。
- ② それとともに、一刻も早く教科書会社が、自らの責任で DAISY 教科書を作ることを推進して欲しいのです。それこそが教育の機会均等であり、子どもたちが初めて同じスタートラインに立てるのです。
- ③ そのための、特に過渡期の協力は惜しみません。もちろん国庫負担で。

10 裏表紙

どうぞ皆さま、要望書へのご支持をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます

ご清聴ありがとうございました。